

田原本町小中学校施設再配置基本計画（案）に対する意見と意見に対する本町の考え方

No	基本計画（案）の該当ページ等	意見	本町の考え方
1	—	<p>東小学校を統合、廃校ではなく新しい魅力的な学校を創る。行政や学校に任せるのではなく、子どもや保護者も主体的となって、関わられるような場所になっていくのではないかと考えます。</p> <p>また地域に住む高齢者の方から農業や伝統文化を学ぶ機会があっても面白いと思います。以下の書籍、学校、フリースクールなどを参考にしてみてください。小規模な学校だからこそできる事がたくさんあると思います。</p> <p>書籍…                      「学校の未来はここから始まる」 合田哲雄×工藤勇一×木村泰子                      「学校の当たり前をやめた」 工藤勇一                      「こんな学校あったらいいな」                      「子どもを育む環境 触む環境」 仙田満                      「体験学習で学校を変える」 堀真一郎                      「みんなで創るミライの学校」                      「学びを選ぶ時代」「みんなの学校が教えてくれたこと」                      学校…                      大阪市立大空小学校、軽井沢風越学園、箕面こどもの森学園                      フリースクール…                      新田サドベリースクール                      NPO法人自然スクールトエック</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。少子化から東小学校の児童数が激減し、数年後には複式学級になるなど子ども達にとって好ましくない教育環境が想定されます。また、東小学校の保護者の方からも保護者への負担、子どもの教育環境改善のため少しでも早い時期に統合をして頂きたいと強い要望が上がっております。このため、東小学校の統合は避けられないと考えています。ご理解のほどどうぞ宜しくお願いいたします。また、町としてよりよい教育環境の形成のために取り組んでいく上で地域との関わりやフリースクールにかかるご意見については貴重なご意見として賜り、今後の参考とさせていただきます。</p>
2	46P 3行目	<p>1.今後の小中学校・幼稚園の再配置                      (1) 小学校の再配置の東小・北小・田小の3校統合に向けた基本構想は、将来の少子減を見据え、学校で学ぶこどもの教育環境の確保・維持を目指す町の措置であり、校区の自治連合会としても賛成である。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。子ども達にとってよりよい教育環境の形成に向けて引き続き取り組みを実施して参りたいと思います。</p>
3	47P 2行目	<p>(1) 3校統合に向けた対応                      3校統合に向けた基本構想は統合の適正配置等の検討と記されているが、東小・北小・田小の3校統合となると、田原本域内の南の端から北の端まで、東の端から西の端までという広範囲にわたる生徒が通う学校とならざるを得ない。                      こうした広範囲にまたがる再配置校となれば、現在通学している学校と比べ、通学距離が長くなるのは明らかであることから、適正配置の検討時に再編される校区から再編されない既存学校への児童の受け入れを認めるという柔軟性と合理性が必要ではないか、そうすることで統合により発生する町の財政負担（児童の通学確保に要する費用）を縮減することも需与すると考える。                      なお、適正配置の際に再編される校区から再編されない既存学校への児童受け入れを認めてもらえるのであれば、3校の統合後、既存学校から統合校への受け入れを認めることも必要ではないか。                      また、3校の統合に向けた適正配置の検討にあたっては、今回の再配置の対象外となる南小や平小が国道24号線の西側に位置していることから、3校の統合校の設置場所は24号線の東側で検討していくべきと考える。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。適正配置の検討時の児童の受入につきましては、住民の皆様の意見も伺いながら、検討していきたいと考えます。また、統合後の具体的な配置等については今後検討していく予定です。</p>
4	47P 6行目	<p>(2) 東小の小規模化（複式学級）への対応                      東小学校ではあと数年で複式学級を導入する状況になるが…、と記載されているが、14Pの（出所：田原本町 令和4年(2022)年度小学校就学予定者調査 令和3(2021)年9月）から推察すると、今の東小の状況では、令和7年度(2025)の入学生から複式学級になる可能性がある。                      複式学級となれば、1年生と2年生が同じ時間に授業を受けることになり、個々の学年の児童が授業を受ける時間が減少し、学力低下を招くことがあることから、東小の複式学級の回避が行政に課された責務と考えている。                      複式学級を回避するには、遅くとも令和6年度末迄には、先行的に田原本小学校か北小学校へ統合する決定をしていただきたい。                      なお、【3校統合取組スケジュール案】のスケジュール表中の令和4年度(2022)令和5年度(2023)の「東小統合準備」の右横令和6年度(2024)に「東小統合」の記載していただきたい。                      東小の小規模化（複式学級）への対応で、東小の統合先としては、中学校への進学を考慮すると田小と統合するのが最適と考えるが、統合する東小の保護者との協議の場を設け、保護者の意見等を優先し決定していただきたい。                      東小の統合が決まり、統合校として発足する時点で東小の保護者等から統合校ではなく、既存の小学校への転入希望があれば柔軟に既存校への入学がかなうように配慮していただきたい。                      その理由として、統合校に東小の子どもが通うとなれば、現在実家を出て生まれ育った実家へ戻ってこようとしても、通学距離が足かせとなり実家へ戻ってこない子孫が増え、高齢者だけの自治体、自治会の衰亡を招く恐れがあると考えます。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。東小学校の複式学級は避けられるよう取り組みをして参りたいと思います。                      スケジュールについては保護者や学校関係者等のご意見を踏まえつつ整備を進めるための財源等も含め総合的に判断しながらできるだけ速やかに進めていきたいと考えています。                      統合再配置による転入や通学距離の問題についてはご意見を踏まえながら引き続き検討して参ります。</p>

5	p7,p46--p48	<p>田原本小学校校区内在住の1児の母親です。</p> <p>田小と北小・東小の統合には反対ではないですが、田小は現在の立地のまま建て替えていただきたいです。</p> <p>まず、仮に現在の立地を変え、図書館のように国道24号線の反対側（阪手等）に移設するようなことになれば、現在の田小校区の子どもたちの多く（数百人）が、毎日、国道を横断することになり、非常に危険だと思います。最近痛ましい事故も増えており、不安で子どもを1人で通わせられません。</p> <p>また、子育て世代は、通勤しやすい駅近くで子どもが学校に通いやすい地域に住住したい人が多いです。小学校が今の駅近くの場所（都市機能誘導区域内）にあったほうが、将来的に田原本町に子育て世代が集まりやすいと思います。</p> <p>警察署が裏手にある現在の立地は防犯上もよく、田小の立地は現在の場所から変えるべきではないと思います。</p> <p>一方で、北小、東小校区の方は距離が非常に遠いために徒歩での通学がしづらくなると思いますが、他の市町村にあるような通学バスを積極的に導入すべきだと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。統合後の具体的な配置等については今後検討していく予定ですが、ご指摘の通学の安全性も十分に踏まえて検討させていただきます。</p>
6	—	<p>P47ページに該当。東小については先行的に田小か北小への統合するなどの段階的な対応が求められるとありますが、田小、北小に徒歩で通学するにはとても遠い地域もあります。</p> <p>また友人関係は学校生活だけでなく、放課後にも大きく関わってきます。公立なのでみんな同じ校区で近くに住んでいて、子ども達で行き来できる距離になっているのが基本と考えます。そこも考慮して、東小校区に隣接している南小にも少し校区を振ることを検討して頂きたいです。そして東小の味間もともと南小校区ですので是非検討をお願いします。</p> <p>それと3校合同により新校舎建設案がありますが、東小よりさらに通学距離が遠くなる地域も当然考えられます。新校舎が通学距離や時間の範囲内だとしても、東校区の味間ですと近くにほぼ同時通学ができる南小があるのに遠い学校に通うことはその分、事故や怪我等のリスクも高まります。味間だけに限らず他にもこのような地域はあると思いますので、柔軟な対応を強く希望します。通学バスについては反対です。徒歩で来る児童からの不満。車酔いする子はたとえ5分の距離であっても酔うので毎日そして6年間も辛いですし、体を鍛える意味も含めて徒歩で通学すべきだと思います。そもそも通学バスを出さないといけない距離にしないで欲しいです。放課後も子どもたちで行き来できる校区割にして欲しいです。保護者については役員の問題があり係りの大小に関係なく言えば既に2回、3回している人もいます。2年連続で役をする人も居るかもしれません。自分の子どもの人数が多ければ多いほどその役の回数も増えます。人数が10人以下でもそれを理由に転校は不可なので早く今後の展開を決定して動けるようにして欲しいです。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。統合後の具体的な配置等については今後検討させていただきますが、ご指摘の通学距離の問題や通学の安全性も十分に踏まえて検討させていただきます。</p>
7	—	<p>小規模特認校の設置を希望します。</p> <p>東エリアの豊かな自然や特産物などを地域コミュニティを生かした学校です。</p> <p>そして子ども達が一緒に考え、話し合い、共に作っていきける学校。</p> <p>具体的には地域の講師を招いて農にたずさわると、何かを商品化するなど生み出す事、HPなども自分で作り世の中に発信する、学校の運営に子ども達が関わり、ルール作りなども自分でディスカッションして作っていく、そんな事が少人数の異年齢で交流しながらできたら、人とも自然とも環境とも共存共栄でやっていく未来を作れるんじゃないかと思っています。</p> <p>天理市や奈良市にはすでに特認校があり、移住を考えたり実際に移住している人もいるくらいです。ここがないからと引越すのは簡単ですが、私はこの街が好きなので田原本でそれができるようにすれば最高と思っています。町の魅力のひとつにもきつとなるはずですが、ご検討よろしく願っています。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。小規模校なりのメリット・デメリットが存在することは認識しております。この度の検討では学校のあり方として「将来に目を向けること」「何事にも適正（子ども、教師にとって）ということが重要であること」や子どもあり方として「人数の多・少が子どもの発達においてどちらがメリットが大きいかを考える」「人間的な質を高めるためにいろいろな人と接することができる環境が重要である」といった観点を重視して検討し、現在の案となっております。ご理解のほどどうぞ宜しくお願いいたします。</p> <p>また、よりよい教育環境の形成に向けて頂きましたご意見を踏まえ取り組んで参りたいと思います。</p>
8	—	<p>・児童数の減少について田小校区を一部変更して東小に通学するようになれば東小の児童数減少が改善され、田小の適正超過も改善できるのではないのでしょうか。</p> <p>もしくは東小を特認校のように特色を付けて田原本町在住者であれば校区を超えて通学可能にするのでしょうか？</p> <p>現在の東小の保護者の方は統合を希望される方が多いようですが、東小に特色をつくり、そこに魅力があれば他区の保護者も東小に通わせたいとなり、そういうところに惹かれる保護者であれば通学距離が多少あったとしても我が子の送迎であれば自主的に行ってくれる可能性もある。</p> <p>またスクールバスを導入するにしても必要経費として徴収する事に一定の理解を得られると考えます。そしてそういった保護者であれば積極的に小学校の行事に参画するのでPTAなどの人員不足などの解消にもつながると思います。</p> <p>・中学生に小学校の再配置をアンケートした事について</p> <p>なかなか過去を振り返って自分ごととして考えにくいのではないかと思います。それなら「生徒数が少なくても興味のある事が勉強できる環境（小学校）に行きたいと思えますか。」など質問の内容をもう少し具体的に聞く方が解答しやすく、より考えが明確になりやすかったのではないかと感じました。</p> <p>また統廃合についての質問も、統合、廃合しか選択肢がなく、どの学校も存続させるという選択肢がなかったのが気になりました。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。校区の再編を伴う統合は地域コミュニティの再編にも関わり今以上に協議を重ねて進めるべき重要な点であることは認識しております。しかしながら、東小学校、北小学校の児童数の減少動向を鑑みまた、学校施設の老朽化も進行していることから早急な対応が求められていることから現在の案となっております。ご理解のほどどうぞ宜しくお願いいたします。</p> <p>通学距離の問題については適正配置の検討結果を踏まえながら継続的に検討して参ります。</p> <p>中学生へのアンケートについてのご意見もありがとうございます。次回の機会からはご指摘の意見を踏まえた取り組みを実施していきたいと思えます。</p>

9	—	<p>・複式学級のデメリットとしてあげられるものはメリットでもあると感じる内容が多く、やり方次第で特色として打ち出せると考えます。</p> <p>指導要領をこなす事に追われて本来の理想の教師像から離れ、疲弊している先生方も多くいると聞くので、先生だけに負担がいくのではなく関わる人間みんなにとって良い形を保護者、子どもたちと共に選択し、作り上げていく小学校があっても良いのではないかと感じます。</p> <p>そうすれば自ずと将来必要な自主性や、理念としてあげられている思いやりを持った人間性豊かな児童の育成にもつながると考えます。</p> <p>必ずしも統合という形ではなく、少ないところに児童自体が移る、という事があって良いと思います。</p> <p>これからの未来を生きる子どもたちは私たち保護者の時代以上に目まぐるしく環境が変化している事もあり、便利な面もちろんありますが、正しく理解し、選択できる力が必要になってくると思います。</p> <p>そこを私たち大人がまず理解し、共に育てる環境を一緒に考えたいです。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。少子化により東小学校の児童数が激減し、数年後には複式学級になるなど子どもにとって望ましくない教育環境が想定されています。また、東小学校の保護者の方からも保護者への負担、こどもの教育環境改善のため少しでも早い時期に統合をして頂きたいと強い要望が上がっております。このため、東小学校の統合は避けられないと考えています。</p> <p>この度の検討では、学校のあり方として「将来に目を向けること」「何事にも適正（子ども、教師にとって）ということが重要であること」やこどもあり方として「人数の多・少が子どもの発達においてどちらがメリットが大きいかを考える」「人間的な質を高めるためにいろいろな人と接することができる環境が重要である」といった観点を重視して検討しております。よりよい教育環境の形成に向けて、頂きましたご意見を踏まえ取り組んで参りたいと思います。</p> <p>また、関係する皆さまのご意見を傾聴できる機会を引き続き設けていきたいと思っております。</p>
10	—	<p>田原本小学校に入学予定の子どもを持つ親です。現在でも人数の多い田原本小学校が、東、北との統合によってさらに大人数になることに不安が大きいです。（運動場も現在でも狭いと思いますし、施設の老弊化、教職員の目が行き届くかなど）</p> <p>小学校による人数のばらつきを改善し各小学校で受けられる教育がなるべく公平になるよう、まず校区の再編成をすべきではないでしょうか。東小学校はかなり人数が少なく保護者の負担も大きいと思うので、北小学校または田原本小学校に統合するのはやむを得ないと思いますが、田原本小学校区でも、他の小学校の方が近い地域もありますし、校区の境界近辺の地域を再編成することでそれぞれの小学校の人数のばらつきはある程度改善できるのではないかと思うのですが難しいでしょうか。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。一時的には多くなりますが教育環境が低下しないよう事前に検討を行い取り組んで参ります。また、将来的には少子化の煽りを受けて減少していくことが十分に予測されますので将来のことも踏まえた検討を進めていきたいと考えております。</p> <p>校区の再編を伴う統合は地域コミュニティの再編にも関わり今以上に協議を重ねて進めるべき重要な点であると認識しております。しかしながら、東小学校、北小学校の児童数の減少動向を鑑み、学校施設の老朽化も進行し早急な対応が求められているため現在の案となっております。ご理解のほどどうぞ宜しくお願いいたします。</p>